

会議結果のお知らせ

令和6年度第2回宮古市スポーツ推進審議会を、次のとおり開催しました。

令和7年4月1日

宮古市スポーツ推進審議会

1 開催日時

令和7年3月19日（水）午後2時30分～午後3時30分

2 開催場所

宮古市民交流センター1階 会議室2

3 議題

【報告事項】

(1) 令和6年度宮古市スポーツ・レクリエーション振興事業の実績について

【審議事項】

(1) 令和7年度宮古市スポーツ・レクリエーション振興事業の事業計画について

4 会議の概要

会議資料を事務局から説明。各委員から、意見をいただいた。
詳細は、会議録のとおり。

5 問い合わせ先

宮古市教育委員会事務局生涯学習課スポーツ振興係
電話 0193-62-2111（内線 3715）

令和6年度第2回宮古市スポーツ推進審議会 開催結果

1 開催日時

令和7年3月19日（水）午後2時30分～午後3時30分

2 場所

宮古民交流センター1階 会議室2

3 出席者（9名）

長塚奉司会長、石崎勝正副会長、関口健委員、坂下幸子委員、澤田和嘉子委員、川崎賢一委員、三浦正弘委員、熊谷純委員（代理：菊池知之副校長）、芳賀郁夫委員

4 欠席者（1名）

伊東理俊委員

5 事務局出席者（7名）

伊藤晃二教育長、佐々木勝利教育部長、生涯学習課長佐々木雅明、高山弘二スポーツ振興係長、佐々木毅副主幹、前川健太郎主任、鳥居海浄主事

6 傍聴者

なし

7 議事等

【報告事項】 1件について報告

(1) 令和6年度宮古市スポーツ・レクリエーション振興事業の実績について

【審議事項】 1件について原案のとおり承認

(1) 令和7年度宮古市スポーツ・レクリエーション振興事業の事業計画について

(参考資料) 質疑応答内容質問・意見

質問・意見	回答
<p>【報告 (1) 令和6年度宮古市スポーツ・レクリエーション振興事業の実績について】</p> <p>(委員) 内陸の学校が冬季間に雪で陸上競技場を使用できないときに、宮古運動公園陸上競技場が使われているようだ。選手の強化と地域振興にもつながると思うので、継続して取り組んで頂きたい。</p> <p>(委員) スポーツ推進委員の高齢化が進んでいるので、各団体に声がけしていただき、人数を確保してほしい。</p> <p>(委員) 部活動の地域移行の関係で、11月に県主催のワークショップで事例発表をいただいたことに感謝申し上げます。 宮古市には中心になって取り組んでいただいているので、引き続き進めていただきたい。</p> <p>(委員) スナッグゴルフで全国大会に出場させていただき感謝申し上げます。 スナッグゴルフは低学年が昨年度から2年連続で取り組んでいる。 また学童保育で休日に体づくりに取り組んでもらっているが、ニーズが高い。低学年から取り組むことが大切だと感じており、今後とも協力していきたい。</p> <p>(委員) 児童生徒大会等参加費補助金は、経済的な不安を抱えている家庭もあり、他市町村にはない手厚い支援で助かっている。 早稲田大学応援部の合宿でのふれあい発表会は、生徒たちにもいい影響を与えており継続して実施してもらいたい。</p>	<p>(事務局) 冬期間に陸上競技場が使用できることは有利な点である。引き続き合宿誘致に取り組む。</p> <p>(事務局) 児童生徒大会等参加費補助金については、少子化等により予選を伴わない東北大会、全国大会がある。現在の規程上は、予選を経て大会に参加することを要件としている。各方面から要望もいただいていることから要件の見直しを検討していく。 早稲田大学に限らず、合宿で宮古市に来</p>

(委員)

1年間の取り組み聞いて、1市民が知らない事業もある。

まずK a d a t t eの取り組みで、様々な競技で行われているが、管内も含めて底辺からつながって、一緒に取り組んでいただけるように願っている。

(委員)

ジュニアスポーツ育成ドリームキャンプ事業は、子どもたちが刺激を受ける非常にいい事業だと思う。

部活動の地域移行の取り組みでは、ひとりでも多くの子供たちが参加できるように進めてほしい。

(委員)

生涯スポーツに関わっているが、縄跳び大会等の参加者を管内に広げたことはよかった。

生涯スポーツについて、指導者ライセンスが必要なもの、必要ないものがあるが、法人としても勉強しながら関わっていききたい。

(委員)

指導者の育成の観点で、指導者講習には多く参加してもらえるようにしてほしい。様々な組織で子供たちが活動しているが、指導者が知識を高めてもらう必要があると思う。

(委員)

指導者に関しては、行政だけでは難しい。スポーツ団体との連携も必要になってくると思う。

た学生と市内の子供たちのふれあいの機会があればよいという声もいただいている。合宿誘致により交流人口を増やす視点でも取り組んでいきたい。

(事務局)

広報手段と併せて伝え方も意識しながら取り組んでいきたい。

(事務局)

地域移行の取り組みは、昨年度が4競技で一回ずつ、今年度は学校の意見を聞き、各競技協会のご協力をいただきながら実施してきた。来年度も継続し実施競技数を増やしていきたい。

多様な活動としてシーカヤックやヨットなどについても取り組んでいきたい。

競技数を増やししながら、実施できる体制づくりを構築していきたい。

(事務局)

お子さんからお年寄りまで、生涯スポーツに触れられるように取り組んでいきたい。

(事務局)

指導者の育成は、長いスパンでみていかなければならない。行政だけでなく、競技団体のご協力も必要。広い視野で指導者の育成には取り組んでいきたい。

【審議 (1) 令和7年度宮古市スポーツ・レクリエーション振興事業の事業計画について】

(委員)

宮古運動公園の指定管理を宮古市体育協会で受託することが、市議会で議決をいただいたようだ。
体育協会としても陸上競技場、野球場を活用して様々な自主事業を展開していきたいと考えている。

【その他】

(委員)

陸上競技場への照明設備の設置について、審議会として要望することはできないか。

(事務局)

指定管理者の自主性で施設の活用が図られることが大きい。
様々な自主事業を考えているようなので、多く市民の方に施設を利用してもらえるようになればよい。

(事務局)

利活用を考えれば照明があればよいが、他に老朽化した施設の改修もある。
財源の問題もあり、どうすれば活用の幅が広がるか、利便性が図られるかをトータルで検討する。